

令和2年度「学び合い」 第6回「音楽」授業研究より

12月9日（水）、第6回校内授業研の「音楽」の授業が行われました。教室に入ってまず目に入るのは、丁寧な、生徒にとって分かりやすく整理された板書。授業の流れとともに、学習内容が一目見てわかる構成となっていました。鑑賞をしながら『学び合い』を進めていく難しさを協議会のメンバーで感じつつも、次への可能性を確かにつかむようなアイデアが出ていました。



リズムをとって、復習から♪



細かな準備の光る、視覚化された板書



次は『A』の旋律じゃない・・・？

協議会のまとめ

1. 今日の授業から ～「学び合いの手法」について～

- 生徒の課題に向かう意欲的な姿が見られた。鑑賞しながらでも一生懸命ワークシートに記入していた。一方で、「見ながら（聞きながら）話す」のは非常に高度であり、なかなか『学び合い』の活動に至らない場面もあった。
- 今回の授業で『学び合い』の活動を活性化するために・・・協議会で出たアイデア
 - ①書く・聞く・話すのメリハリをつけると取り組みやすくなる。
 - ②1人1枚のワークシートよりも、班で1枚のワークシートにすると話し合いがしやすくなる。
 - ③曲を区切って聞かせ、話す場面を確保する。
 - ④今後の展望として、クロームブックの活用を取り入れていく。

2. 深見敬子指導主事の指導助言から

- 丁寧な準備にあふれる授業。音楽に触れて心をたがやす授業となっていた。“音楽の授業ならではの”環境として、人の声よりも音があふれる環境づくりをしていきたい。
- 生徒の予想を利用した学び合いによって、自由に意見を出すことのできる授業づくりができる。例えば、音楽の鑑賞の単元で曲の構成に気付かせたければ、途中で曲を切り、次にどのような旋律がくるかを予想させ、発言させるなど。発問の方法を使い分け、生徒の発言を促すことができると良い。

基礎力

知識習得型の「問い」
・・・いつ、だれが、どこで
理由根拠型の「問い」
・・・あなたは、なぜ？
ミッション型の「問い」
・・・どうやって？

思考力

問題追究型の「問い」
・・・なぜ～なのだろうか？
課題解決型の「問い」
・・・どうしたらいいのか？
プロセス型の「問い」
・・・どのように～？

実践力

未来志向型の「問い」
・・・これからのためには？
価値判断に迫る「問い」
・・・どちらが～？
意志決定させる「問い」
・・・あなたはどうする？
提案型の「問い」
・・・～しよう？してみよう？

※資質・能力と教科・領域の目標・内容をつなぐ「問い」の工夫
(熊本県立教育センターより)